

神奈川県内33市町村の生成AI導入状況

※タウンニュース社調べ(2月5日～21日に実施)

(2025年1月1日現在)

導入済

	横浜市	横須賀市	海老名市	藤沢市	大和市	厚木市	平塚市	伊勢原市
年月日 導入	2024年 10月15日	2023年 4月20日	2024年 4月1日	2024年 4月1日	2023年 10月23日	2023年 5月23日	2024年 10月15日	2024年 5月1日
活用事例	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、議会想定問答文案の作成、文書の校正、翻訳、数値予測、行動最適化、アイデア出し	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、文書の校正、翻訳、画像・動画・音声の生成・編集、アイデア出し、1.市長の動画・音声生成AIを使い「市長アバター」を作成し、市内の外国人向けに英語で行政情報、観光情報の発信を実施。2. 仕事の手順を学ぶ。法律の教養資料の作成など多数事例あり。	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、議会想定問答文案の作成、文書の校正、翻訳、アイデア出し、VBAコード等の支援	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、文書の校正、翻訳、アイデア出し	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、議会想定問答文案の作成、文書の校正、翻訳、アイデア出し	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、議会想定問答文案の作成、文書の校正、翻訳、アイデア出し、(アイデア出し具体例) 祈念事業の企画案、学級講座の企画	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、文書の校正、翻訳、アイデア出し、パソコンの操作方法やコードの生成(Excel関数、VBAなど)、アンケート結果の整理・分析	あいさつ文案の作成、議事録の要約、企画文書の作成、議会想定問答文案の作成、文書の校正、翻訳、アイデア出し
導入効果の有無	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった
具体的な効果	業務の時間短縮、窓口業務や行政手続きの業務効率化、人手不足の解消	業務の時間短縮、今まで思いつかなかった新たなアイデアの創出。	業務の時間短縮	業務の時間短縮、業務の質向上等	生成AIの導入効果を定量的に評価することが困難である。	業務の時間短縮	業務の時間短縮、業務の「質」の向上、新しいアイデアの創出	業務の時間短縮、窓口業務や行政手続きの業務効率化
導入後に見えてきた課題	日々進展する生成AIサービスの動向の把握やセキュリティ面の対応、さらには導入した生成AIサービスを運用していくための体制維持やそのための人材育成が求められる。また、業務効率化をはじめとする課題解決のために、全庁的なリテラシーの向上や普及を効率的、効果的に進めていく必要があります。	生成AIをいかに多くの職員に使ってもらうか。テコ入れ策が重要。	特にありません	人材育成、活用拡大に向けた取組み拡大	乱立する生成AIに関する情報収集等	質問文や指令文の作成方法に苦労する職員が多ことから、充実させた内容の指令文作成方法を職員に周知していく必要があること。	・生成AIをより効果的に活用するための職員のスキルや知識の向上 ・期待する回答を得るための、生成AIへの適切な指示の出し方(プロンプト作成)	利用者数が少なかったため、多くの職人に使用してもらえようよう操作研修を行っている。
用途を広げる計画	文書作成補助(作成、要約、校正)やアイデア創出などでの利用を進めることにより業務効率化を推進するとともに、日々進展する技術動向やセキュリティ面や業務課題解決に向けた利用面での検討・調査を行いながら、より効果的な活用と利用の定着に向けた取組を進めます。	新たなAIが現れた際には、有用性を検証していく。	RAG機能の活用	具体的な計画等はないが、当面、活用の定着を図っていく。新規性ある実証等には積極的に参加し、さらなる活用の方向性を見定めつつ拡充していきたい。	※回答なし	今後の利用状況等を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。	特にありません	現時点ではなし

神奈川県内33市町村の生成AI導入状況

※タウンニュース社調べ(2月5日～21日に実施)

(2025年1月1日現在)

導入済

	三浦市	寒川町	開成町	真鶴町				
年月日 導入	2024年 9月1日	2024年 10月7日	2024年 4月1日	2023年 4月1日				
活用事例	あいさつ文案の作成, 企画文書の作成, 文書の校正, 翻訳, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 文書の校正, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 議会想定問答文案の作成, 文書の校正, 翻訳, アイデア出し	議事録の要約, 文書の校正, 翻訳				
導入の有無 効果	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった				
具体的な効果	業務の時間短縮	業務の時間短縮, 人手不足の解消	業務の時間短縮	業務の時間短縮				
導入後に見えてきた課題	特定の部署・人員において効果が発揮できたが、それ以外の部署においては利活用が進んでいない(利活用する機会がない)。	業務特有の言い回しや単語を要約する際にハルシネーションを起こしやすく長時間の会議の議事録を作成する際に苦慮する場面がある	生成AIの活用は業務の効率や質の向上を可能にするものと考えられています。ただし、プロンプト(命令)によっては、回答にばらつきがあることから、効果的な回答が得られるよう質問例や活用方法を庁内で共有し、いかに使いこなすかを共有していく必要があります。	主な用途は議事録作成だが、AIが事実に基づかない情報を生成する現象いわゆるハルシネーションが発生するため、職員による確認は特に注意しなければならない。				
用途を広げる計画	特にありません。	現状はなし	今のところありません。	・キーワードによるイメージ画像の生成(計画等の挿絵に活用) ・構想段階の壁打ち相手としての活用 ・生成AIの使い方に関する職員研修を企画中				

神奈川県内33市町村の生成AI導入状況

※タウンニュース社調べ(2月5日～21日に実施)

(2025年1月1日現在)

実証実験中

	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市	小田原市	綾瀬市	鎌倉市	大井町	
実証開始年月日	2024年7月10日	2023年6月1日	2024年11月1日	2024年9月20日	2024年12月1日	2023年12月25日	2024年4月1日	
活用事例	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 文書の校正, 翻訳, アイデア出し, Excelの関数やマクロのコード等の作成	議会想定問答文案の作成, 文書の校正, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 文書の校正, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 文書の校正, 翻訳, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 議会想定問答文案の作成, 文書の校正, 翻訳, 画像・動画・音声の生成・編集, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 文書の校正, アイデア出し	あいさつ文案の作成, 議事録の要約, 企画文書の作成, 議会想定問答文案の作成, 文書の校正, アイデア出し	
導入効果の有無	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	効果があった	
具体的な効果	業務効率化などの効果が一定確認されたが、今後、庁内アンケートにて確認を予定。	業務の時間短縮, 人手不足の解消	業務の時間短縮	業務の時間短縮	業務の時間短縮	業務の時間短縮	業務の時間短縮, 窓口業務や行政手続きの業務効率化	
導入後に見えてきた課題	今後、庁内アンケートを踏まえて把握を予定。	コストに見合う使用方法、業務範囲の拡大。職員の活用力の育成。	自治体は3層分離によるセキュリティ制約が存在するため、民間企業等が導入し、実績があるツールを導入したとしても同様な効果を出すことが難しい。自治体に特化した生成AIツールは存在するが、他のツールと比較すると費用が高額であったり、機能が制限されていることが多く、ツール選定に難儀している	使ってみることに対するハードルが高いこと 質問文の作成に一定のコツがあり、試行錯誤して使い込んでいる職員との情報交換の場(チャットでチャンネルを作成)が求められること	生成AIを使いこなす技術の習得	生成AIからの回答結果の正確性の検証、著作権侵害の懸念	RAG機能の活用について	
用途を広げる計画	利用拡大に向けて検討を進める予定。	現在検討中です。	議会関係や方針策定などでも有効活用したいと考えている。	現状では、実証実験の仕様をベースに開始する予定です	現状特にありません。	検討中	庁内事務の問い合わせなどを生成AIに回答をさせる。	

神奈川県内33市町村の生成AI導入状況

※タウンニュース社調べ(2月5日～21日に実施)

(2025年1月1日現在)

導入や実証実験を検討中

	座間市	秦野市	愛川町	湯河原町	山北町	中井町	二宮町	清川村
導入・実証実験どちらを検討していますか	実証実験を検討している	導入を検討している	実証実験を検討している	導入を検討している	実証実験を検討している	導入を検討している	導入を検討している	実証実験を検討している
導入・実証実験の予定時期	令和7年度中に実証実験の実施を目指す	2025年3月	未定	未定	未定	令和7年度中	令和7年10月導入予定	未定

検討(さらには実証実験)したが導入に至らず

	逗子市	大磯町						
今後も継続して導入を検討していきますか	今後も継続して検討していく	今後も継続して検討していく						
導入に至らなかった理由	一度に入力できる文字数に制限があり、議事録の要約などに支障があったため	プライバシーの保護、不正確な情報の生成、偏見の強化、サイバーセキュリティの脅威等のリスクや課題があるため。						

導入予定もなく検討もしていない

	南足柄市	松田町	葉山町	箱根町				
導入の予定もなく、検討もしていない理由	導入予定はないが、課題として認識している。	専門知識を持つ職員等がない	利用範囲の明確化や、利用規則の制定等の検討が必要だと考えているが、専門知識不足や業務多忙のため取り掛かれていない。	検討はしていないが、今後研究していく分野である。				